

超人口減少地域における 子ども・教師・社会の ウェルビーイングを考える



センターについては
こちらから



(撮影：石井真弓)

持続可能な地域とそのポキャブラリー

「そこにいる being」の尊重からはじまる連帯

基調講演概要：

「持続可能性 sustainability」というものが公共の目的として掲げられてひさしい。このスローガンのもと、たとえば「生物多様性」の保全などが推奨される。では、地域はどうだろうか。超高齢化と人口減少が進むなか、日本社会でも地域単位で「持続可能性」が問われる。そこにいる人の数そのものは確実に減るであろうなか、なんらかの共同体を持続させるためにはなにが重要なのだろうか。本提題では、「ポキャブラリー(ことばづかい・語彙)の多様性」をその鍵として捉え、その要点として、いま、そしてこれからも、そこに「人」がいる (being) という端的で平凡な事実からしかはじまらない社会的「連帯」のありかたを検討したい。

講師プロフィール：

朱喜哲 (ちゅ・ひちよる／哲学者)

大阪大学 社会技術共創研究センター 招へい准教授

1985 年大阪生まれ。新居浜・岐阜・北九州などで育つ。博士 (文学)。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了。専門はプラグマティズム言語哲学とその思想史。またデータビジネスのELSI(倫理的・法的・社会的課題)の理論と実務。著書に『人類の会話のための哲学』(よはく舎)、『バザールとクラブ』(よはく舎)、『公正(フェアネス)を乗り越えなす』(太郎次郎社エディタス)、『100分 de 名著ローティ『偶然性・アイロニー・連帯』』(NHK 出版) などがある。

お問い合わせ

弘前大学教育学部総務部次世代ウェルビーイング研究センター担当

0172-39-3962

Email: jm3962@hirosaki-u.ac.jp

主催

弘前大学教育学部附属次世代ウェルビーイング研究センター

<https://hirodai-wellbeing.com/>

後援

青森県教育委員会 弘前市教育委員会 八戸市教育委員会

東奥日報社 陸奥新報社 NHK 青森放送局



文京町キャンパス
Bunkyo-cho Campus